

「2022年度入社式 & 経営指針書発表会を行いました」

3月26日（土）に園田東生涯学習プラザにて入社式 & 経営指針書発表会を執り行いました。おかげさまで昨年度2月より1名、本年度4月より2名が入社しました。新入職員共々、よりフレッシュになったサニーサイドを2022年度もよろしくお願いいたします！



SunnySide

その道40年パティシエ秘伝のレシピ
心があたたまるクッキーです

プレーン
バターのコクと
香りが広がる定番の
プレーンクッキー

紅茶
アールグレイの
香り漂う大人の味

ココア
甘さ控えめ
ビターな
ココアクッキー

白ごま
白ごまをたっぷり使った
香ばしさがたまらない

贈答用セット販売しています。1000円～5000円

他に、シュガーラスク・ガーリックラスク・チュエールアーモンドもあります。お問い合わせください。

サニーサイド通信



なかよし



五月山展望台にて

新入職員紹介

介護部 清崎 鈴乃

こんにちは！4月からサニーサイドに入社致しました、清崎鈴乃です！現在、介護部で、先輩方やサニーサイドの利用者の皆様やそのご家族様から、沢山のことを教えていただきながら、充実した日々を過ごしています。

私が福祉の道に出会ったきっかけとなった人たちがいます。それは家族です。私は母親、3歳下の弟、6歳下の妹の4人家族で育ちましたが、3歳下の弟には知的障害があります。そんな家族と生きていく中で、様々な感情を抱き、様々な疑問を感じてきました。「そんな私だからこそ出来ることがあるのではないかと走り続けてきた私は、すっかり福祉の虜になっていました。「弟のおかげ」というと大げさな表現かもしれませんが、私の人生において、家族は

大きな力となっており、彼らへの感謝の気持ちを社会に少しずつ返していきたいなと思っています。

さて、今年の3月に大学を卒業した私ですが、これまで様々なスポーツをしてきました。小学校と高校ではサッカーを、中学校ではソフトテニスを、大学では2年間ハンドボールをしてきました。大好きなスポーツから、沢山のことを教えてもらいました。「仲間と協力することの大切さ」「挨拶と笑顔の大切さ」「努力することの大切さ」といった、スポーツから教えてもらった様々な大切なことは、今もずっと大切にしています。

サニーサイドでも、それらを忘れることなく、頑張っていきたいと思います！まだまだ未熟な私ですが、太陽のように明るく元気に精進して参ります。皆様どうぞ、よろしくお願いいたします！

人事
情報

【採用】

2022/4～

介護部 / 清崎 鈴乃（正職員） 総務経理部 / 奥田 玲奈（正職員）
学童保育部・就労部 / 渡邊 百笑（パート） 学童保育部 / 南 真澄（パート）

新入職員紹介

学童保育部 佐藤 里歩

はじめまして、佐藤里歩と申します。2月に新潟から引っ越してきました。普段はつくしで子どもたちと楽しく活動させてもらっています。つくしでは4月に新一年生を迎えるための入所式を行いました。上級生になる子どもたちが、新一年生に渡すメダルを製作したり、始めの挨拶を考えたり、普段の子どもたちとはまた違った一面が垣間見えました。子どもたちと一緒に成長出来たらいいなと思っています。

話は変わりますが、私は新潟で学校に行けていない子どもたちに勉強を教えていたり、子ども食堂をしていました。先日、その時の生徒が「自分とどのような

思いをしている子どもたちに寄り添える先生になりたい」と話してくれました。この生徒のように学校に行けていなくても、未来に希望が持てるのは素敵だなと思いました。私はこれから、そんな子どもたちが一人でも増えるように、学校がしんどい子どもたちの居場所を創りたいと思っています。

すべての子どもたちが自分らしく生きられるようにサポートしていきます。これからどうぞよろしくお願いいたします。



「普通の生活」

就労部 牛尾

先日、ウクライナの戦火を逃れて来日されたご家族にインタビューが、「日本でどんな生活がしたいですか?」と問いかけたとき、その答えが「普通の生活がしたいです」。

「普通の生活」。仕事がある、帰れる場所がある、布団で眠れる、ご飯が食べられる、時々遊びにも行ける、などなど。そのような「普通の生活」が出来ない状況の最たるものが戦争であり、地震や異常気象がもたらす災害。そこまでは行かなくとも今回の「新型コロナ騒動」もその一つ。

そうしたなかで4月6日(水)、3年ぶりに「お花見」が催されました。“桜咲く”の季節になると毎年、当たり前のように行われていた「お花見」です。

いつも給食を作っている職員のMさんを中心に、昨年入社した職員Sさん、新人職員のUさん、そしてお手伝いしてくれるメンバーさんたちの手作りのお弁当を、皆でいただく。お腹が満たされたあとは好きなプランコを揺らしているEさん、バドミントンやボール遊びを楽しむHさんとKさん、カラオケよろしく“マツケンサンバ”を気持ちよさげに歌っているIさん、特技

の絵で桜を描いているTさん、会話を楽しんでいるUさんやMさん、思い思いに春の日差しを浴びながらの心地良い時間を過ごしました。

3年ぶりのお花見。これも「普通の生活」への一歩前進。サニーサイドが日々提供するメンバーさんたちへの「普通の生活」への尽力。その意味で今回のお花見の特筆は、Hさんのお弁当です。嚙下力その他のことから、いつも昼食は他のメンバーさんと同じ給食はとれず、お弁当持参のHさん。それを今回、ご自宅から持参されたのは食器類だけ。中身は給食作りを担当してくれた職員やメンバーさんの手作り。おかげでHさんも皆と同じお弁当という意味で「普通の生活」へ一歩前進です。

そして今回、お花見を中心になって企画、実行して下さったのは昨年入社の二人の職員さん。ここでもメンバーさんの「普通の生活」を支えようとするサニーサイドの戦力アップが一歩前進。

それやこれやの“一歩前進”があり、「普通の生活」の質が次第々々に良くなるようで、とても明るい気持ちになれた今年の「お花見」でした。

「2回のお花見」

就労部 渋谷

4月は暖かく天気の良い日が続きましたね。綺麗な花の見頃、えるういは今年2回もお花見に参加しました。

1回目はえるうい恒例のお花見。お弁当を持って近くの公園まで歩きました。給食室で作った特別なお弁当は、みんなで詰める準備もしました。青空と気持ちいい風、満開の桜が舞う中で、のんびりと歌ったり、ベンチでおしゃべりしたり。バドミントンをして、絵を描いて、各々好きなことを好きなようにする時間はとても豊かでした。コロナ禍で久しぶりのお出かけイベントとなり、いつも話さない人とも声を交わし合っ

て一緒に楽しむことができました。2回目はサニーサイド全体のお花見。つくしの子ども、レオラの利用者様、hinataの地域の方々も入ってごちゃまぜになり、いつもと違う顔をたくさん見ることができました。まずは輪になって自己紹介。照れながらもみんなの前で話をしました。楽しみのお弁当は、普段職員と向かい合っ

みんな一緒に本気でキックベース。「走れ走れ!」と声を出し、メンバーさんも保護者さんも全力疾走でホームに駆け込んでいました。日陰では、パワフルに遊ぶみんなをほがらかな顔で眺めながら周りの人とおしゃべりして笑顔をこぼしていました。

最後は桜並木へお散歩。歩くのがゆっくりなメンバーさんは普段遠くまで移動する時はペースの違いからスタッフと2人で後ろを歩くことも多くあります。でもこの日は周りを何人もの人に囲まれて話しながら一緒にゆっくり桜を眺めました。かわり合うことで、違いも同じことも知る、楽しさが増える、つながりが深まる、そんなたくさんの気づきがありました。その場にいる誰もが桜をお花見を楽しむ参加者で、同時に誰かを助け気遣う支援者でもありました。サニーサイドの描く「地域の誰もが名前呼びあう関係」そんな絵が少し現実になった瞬間に思いました。今年度は楽しみ合うごちゃまぜな関わりを今まで以上に深めていきたいなと思っています。



レオラ写真館

ライフサポートセンター・レオラ

